

ミャンマー小学校、学習指導要領（数学）

第1 小学校数学学習の一般目標

- 1) 数体系、量の測定法、幾何的図形と図で代表された物事についての基礎的知識を身に付ける。
- 2) 簡単な問題解決方や4つの計算法や測定法について基礎的な技能を身に付ける。
- 3) 数学の基礎的知識や技能を日常の事象と関連付け、生活で必要に生かすことができる。
- 4) 物事の事象について見通しをもって考え、集中して解決するなどの数理的正義が育ち、数学に興味を持つ。

目標に至るため小学校の数学では以下の内容を定めている。

- 1) 数の概念
- 2) 測定について様々な方法
- 3) 幾何的図形についての基礎
- 4) 統計図表についての基礎

第2 各学年の指導に当たる提案及び内容

（第1学年）

1 提案

- (1) 0から20までの数の数え方、読み方、書き方を教えるとき具体物を用いる。
- (2) 数を正しく読むこと、書くこと。つづりを教えない。
- (3) 0の存在を特に気をつけて教える。

2 内容

ア 数と数えるための基礎概念

- ・集合づくり、量、相等、大小、測定の素地、位置

イ 数と計算

- ・1から10までの数、加法と減法、0の意味、
- ・式、文書問題
- ・数前の基礎概念
- ・5までの数、記数・命数、加法・減法
- ・0の意味
- ・6から10までの数、加法と減法
- ・10から20までの数、加法と減法
- ・繰り下がりの減法
- ・横・縦式の加法と減法

ウ ミャンマー通貨

- ・ミャンマー通貨

エ 量、測定、図形

- ・長さ、重さ、大小、順序

オ 幾何、形

- ・円、三角形、

カ 利用した記号

- ・ 0 , 1 から 1 0 までの数字、 + 、 _ 、 =

第 1 学年では数学の学習時間を以下の通りに定める。

	時間	週学習回数	年間学習時間
小学校数学	30分	週7回	126時間

各単位における時間割合の表

単位	内容	単位時間数
1	数の予備的知識	10
2	5までの数え方、読み方、書き方	8
3	5までの数の加法、減法	28
4	10までの数え方、読み方、書き方	23
5	10までの数の加法、減法	28
6	20までの数え方、読み方、書き方	23
7	20までの数の加法、減法	48
8	繰り上げなしの加法、減法	28
9	ミャンマー通貨	8
10	総合練習	18
	学習時間	222
	復習時間・予備時間	30
	合計	252

(第2学年)

1 提 案

- (1) 繰り上がる、繰り下がるに関する加法、減法の学習では具体物を利用し分かりやすく丁寧に指導すること
- (2) かける、割るとの意味を理解するよう丁寧に指導すること
- (3) 測定を始めて学習する段階なので、基礎的概念をしっかりと身に付けるよう丁寧に指導すること
- (4) 幾何の学習について、実際に物を描くことによって児童の手を使う習慣と技能を育成するはじめの段階なので、特別に力を入れて指導すること

2 内 容

小2年

ア 数と計算

100までの数と計算、加法、減法、かけ算、割り算、式、文書問題、九九、乗法

- ・加法と減法の組み合わせ
- ・2とび、5とび、10とび、12とびの数え方
- ・加法と減法による繰り上げり、繰り下げり計算
- ・位取り記数法
- ・順序数で位置を表す
- ・倍の意味、 10×10 までの九九
- ・カレンダーで、日付を探す
- ・100マス
- ・偶数、奇数、かけ算・割り算の基本

イ ミャンマー通貨

通貨の単位、関係、買い物

- ・いくらかかる？
- ・いくらお金を持っている？

ウ 量、測定、図形

- ・長さ、重さ、かさに関する単位(ミャンマー測定単位)
- ・ミャンマー測定単位、イギリス測定単位
- ・時間(分、時、)、曜日、週、月

エ 幾何、形

平面の基礎図形、作図

- ・図形、面、直線、曲線
- ・同じ形を選ぼう

オ 利用した記号

- ・100までの数、×、九九

第2学年では数学の学習時間を以下の通りに定める。

	時間	週学習回数	年間学習時間
小学校数学	30分	週7回	126時間

各単位における時間割合の表

単位	内容	単位時間数
1	0から20までの数	10
2	100までの数え方、読み方、書き方	30
3	100までの数の加法	20
4	100までの数の減法	20
5	ミャンマー通貨	10
6	掛け算	45
7	割り算	40
8	様々な測定単位	22
9	幾何的図形	15
10	総合練習	10
	学習時間	222
	復習時間・予備時間	30
	合計	252

(第3学年)

1 提案

- (1)九九を理解してさらに暗記され、特に連合法を丁寧に指導すること
- (2)測定についても、日常の生活に関連付けて、必要に応じて導入すること
- (3)幾何の基礎概念をよく理解し、作図する場合は、計画的に行動することができるよう心かけて指導すること
- (4)図形を意味概念し、バーグラフの意味を理解できるよう指導すること

2 内 容

ア 数と計算

- ・ 1000までの数と計算
- ・ 分数、分数の加法と減法
- ・ 1000までの数の加法、減法、かけ算、割り算
- ・ 繰り上がり、繰り下がりの加法、減法、文書題
- ・ 掛け算、10,100の倍数、九九、約数、文書題
- ・ 割り算、一桁・2桁での割り算、かけ算との関係
- ・ 分数、分数の加法と減法
- ・ 減法36の表

イ ミャンマー通貨

- ・ 通貨の単位、関係、買い物

ウ 量、測定、図形

- ・ 長さ、重さ、かさ、時間、棒グラフ
- ・ ミャンマーの体積、容積単位
- ・ 時刻、時間、年月日の関係

エ 幾何、形

- ・ 辺、角、直角、図作成、対角

オ 利用した記号

- ・ 1000までの数、分数、分母、分子、秒、直角、九九

第3学年では数学の学習時間を以下の通りに定める。

	時間	週学習回数	年間学習時間
小学校数学	30分	週7回	126時間

各単位における時間割合の表

単位	内容	単位時間数
1	数の基礎概念	10
2	1000までの数え方、読み方、書き方	14
3	加法	18
4	減法	18

5	幾何的図形	1 8
6	掛け算	3 6
7	割り算	3 0
8	分数	1 5
9	ミャンマー通貨	1 4
10	ミャンマー測定単位(重さ、かさ)	1 0
11	時間、距離	3 2
12	図表の基礎概念	1 1
	学習時間	2 2 2
	復習時間・予備時間	3 0
	合計	2 5 2

(第4学年)

1 提 案

- (1) 分配法則、交換法則を理解するよう指導すること
- (2) メートル的測定法を優先的に導入すること
- (3) 作図に関する学習は必然的に練習させること
- (4) 表と図を系統的に描けるよう注意して指導すること。与えられた図表を意味概念することができるよう指導すること。

2 内 容

ア 数と計算

- ・ 1万までの数、計算、分数
- ・ 数の記数法と命数法
- ・ およその数
- ・ 数直線
- ・ 加法と減法、繰り上がり、繰り下がり
- ・ 加法と減法の演算解決場面
- ・ かけ算、割り算
- ・ 余りがある割り算
- ・ 約数
- ・ 分数、分母、分子、大小、足し算、引き算

イ ミャンマー通貨

- ・ 買い物リスト作成

ウ 量、測定、図形

- ・ 液体と物体の容積
- ・ イギリスの測定単位、時間と年月の文書問題
- ・ グラフ、棒グラフ、位置
- ・ ミャンマー単位（長さ、重さ、容積、）
- ・ イギリス単位（長さ、重さ、容積、）
- ・ メートル方（長さ、重さ）
- ・ 時刻、時間、道のり
- ・ Tally、バーグラフ、棒グラフ

エ 幾何、形

- ・ 面積、周辺の長さ
- ・ 平行四辺形、正方形、5 角形
- ・ 正三角形、二等辺三角形、角、辺、頂点
- ・ 円、半径、直径、中心
- ・ 周辺の長さ、面積

オ 利用した記号

平方単位、m、km、g、kg、yd、ft、in、tally、Twar、Taung、Vass、Can、Tinn、Taungg、
分数

第4 学年では数学の学習時間を以下の通りに定める。

	時間	週学習回数	年間学習時間
小学校数学	35 分	週7 回	147 時間

(第5 学年)

1 提 案

- (1) 加法と減法に関する式を解くとき、はかり(バランスを取る)の概念を実際の場合と関連つけて、分かるように集中して指導すること
- (2) 問題解決過程を計画的に考え、段階的に表すこと(与えられた情報、質問、決断、解決法、回答等)ができるよう丁寧にしどうすること
- (3) 初等教育の最終段階なので、生涯にわたる必要最低限の測定ができるよう、指導すること
- (4) また、中学校に入学する段階なので、幾何の基礎を熟知することが必要である

(5) 長方形の辺の長さや面積を求める方法を熟練すること。体積の概念を具体的に理解し、様々な方法で(数える方法、公式等)体積を求めることができること

(6) 図表で、表示することに関して、図表と棒グラフ両方を意味理解し、表と図で表すことができるよう注意し、指導すること

2 内容

ア 数と計算

1000万までの数、計算

分数、小数、掛け算、割り算

- ・ 1000万までの数、加法、減法、およその数で掛け算
- ・ 文書題、式
- ・ 掛け算の性質、約数
- ・ 分数の加法と減法、文書題
- ・ 小数、問題

イ ミャンマー通貨

買い物リスト作成

ウ 量、測定、図形

液体と物体の容積

イギリスの測定単位、時間と年月の文書問題

グラフ、位置

- ・ 道のり、時間、時刻の問題
- ・ 異なる単位の掛け算、割り算、かかる日にち、
- ・ 3つの測定単位の関係、問題
- ・ Tally、棒グラフ、棒グラフ

エ 幾何、形

面積、周辺の長さ、体積、作図

- ・ 多角形の周辺の長さ
- ・ 面積、正方形、平行四辺形の面積
- ・ 立体の面積、体積

オ 利用した記号

小数、長さ・重さ・かさ・時間・時刻等の単位、
平方・立方単位、行列

第5学年では数学の学習時間を以下の通りに定める。

	時間	週学習回数	年間学習時間
小学校数学	35分	週7回	147時間

各単位における時間割合の表

単位	内容	単位時間数
1	数の基礎概念	5
2	1000万までの数え方、読み方、書き方	15
3	加法と減法	20
4	幾何の基礎概念	15
5	掛け算	20
6	割り算	20
7	分数と少数	30
8	時間と時刻	15
9	ミャンマー測定単位(重さ、かさ)	20
10	ミャンマー通貨	15
11	長さの測定	15
12	周辺の長さと面積	12
13	体積、容積	10
14	図表で表示	10
	学習時間	222
	復習時間・予備時間	30
	合計	252